

⑫災害に強いまちづくりをめざして ～中越沖地震の教訓から～

松美町自治防災組織（柏崎市）

団体概要

設立年度：平成19年度
人口：1,224人
世帯数：483世帯
（ともに平成23年3月31日現在）



緊急被害状況調査表

地域の状況

地理的状況

松美町内会は、柏崎市の市街地である比角地区にあり、戦後砂山と水田の一角に市営住宅が建てられて以後個人住宅が増えて、昭和42年に「松美」と町名が命名され、その頃から振興住宅地として栄えてきた比較的大きな町内会です。

過去の災害：H16中越地震 H19中越沖地震

○組織結成の経緯

（結成までの経緯）

●中越地震を経験し、自主防災組織の設立が必要であると感じていた。役員会を開き自主防災会の規約、防災計画等の打合せを行い、H19年4月1日に設立した。

（結成の際に苦労、工夫したこと）

●町内行事等を通じて住民の顔が見え、仲間ができる町内づくり

○特徴的な取組み内容

（自主防災組織活動の詳細な内容）

- 1 中越沖地震発生直後の取組み
 - ・避難誘導（町内会指定避難所へ）
 - ・安否確認
 - ・夜間巡視活動
 - ・高齢者、一人暮らし、障害者の避難呼びかけと誘導支援（災害時要援護者名簿の活用）
- 2 被災2日目以降の対応
 - ・外部ボランティアの受入れ（町内会長：ボランティアコーディネーター、町内役員：外部ボランティアを被災宅へ案内）
 - ・町内ボランティアの活動（一人暮らしの、高齢者、障害者への飲料水、生活用水、食料支援物資等の配給）
 - ・市の資源ごみ特別収集日のボランティア活動（活動時間：9時から17時）
 - ・第1回緊急被害状況調査（震災から3日目 安否確認及びボランティア派遣のため）
 - ・第2回緊急被害状況調査（1ヶ月後 被害箇所の確認及び復旧状況の確認のため）
 - ・町内だより「震災特集」を発行する。



町内ボランティア資源物収集活動の様子



松美町内だより

○組織の形態

会長 - 副会長 - 班長（1～5班）

班員・・・

○活動の成果や問題点など

【よかった点など】

- 1 アンケート「緊急被害状況調査」の効果として
 - ①緊急時の情報伝達に役立った。
 - ②ケガ、又は身体の状況の確認、外部の保健師の巡回訪問に役立った。
 - ③後片付けの手伝いの有無（不要の回答が多かったが町内会長の判断で導入した。）
- 2 平常時の活動が役に立った
 - ①実行委員会による町内行事（顔の見える活動）
 - ②町内だよりの発行
 - ③自主自立の環境づくり
 - ④企業との協働

【苦労した点など】

- 発災直後に町内を一軒一軒見回って住民の安否確認、被害報告を行ったが、アパート住民や派遣職員アパート住民の安否確認がほとんど不可能であった。このように平常時の町内活動になかなか参加されない者への対応について苦労した。

防災資機材を整備する前だったので、飲料水や生活用水を運ぶ用具（台車）がなく困った。

○活動の課題や今後の取り組みの予定

【課題となっていること】

- 受入れ住民のボランティアについての学習、自主防災計画の見直し、冬季防災用具の検討等

【課題解決のための取り組み計画】

- 町内掲示板を伝言板とする。班長の役割を明確にする、避難訓練の実施・継続等